



## ■ グリニッチ便り ■

Japanese Gospel Church of Greenwich

No. 166, 2013年9月号

グリニッチ福音キリスト教会

# ドライブウェーのひまわり

牧師 立石尚志



9月もう秋分、秋本番を迎えました。我が家のドライブウェー(家の前の自動車置き場)脇に一行に植わったヒマワリも青空をバックに黄色い大輪を咲かせてくれました。そのような中、左端のヒマワリも花をつけ、一生懸命咲いたのですが、他の七本のヒマワリに比べると、背丈はなんと、四分の一、花のサイズも、大きい物は25cmあるところ、僅か8cmです。なぜこんなに小さいのか?実はほとんど土がない所で育ったからなのです。どのヒマワリもドライブウェー脇の岩地に蒔かれていたので、決して条件はよくなかったのですが、他の七本の下にはそれなりに土があり、根を張る場所がありました。しかし、一番左端はことさらに条件が厳しく、本来は最も頑強な雑草しか生えないところだったのです。

### 置かれた場所で咲きなさい、って言うけれど・・・

昨年、岡山ノートルダム清心学園の理事長、渡辺和子氏が著した「置かれた所で咲きなさい」という本が100万部を超すベストセラーになりました。アマゾンのカスタマーレビュー(書評)では五つ星のうち4.2であり、多くの方々がこの本を支持していることが分かります。私はこの小さなヒマワリを見て、この本の題名をすぐ思い出しました。まさにこのヒマワリは置かれた場所で精一杯咲いてくれたのです。

置かれた場所でしっかり咲くこと、つまり、そこで自分が幸せになり、人を幸せにすることができるならそのことがすばらしいのであり、十分なのだ、というのがこの本の考え方ですが、アマゾンのカスタマーレビューを見ると、インターネット検索で「役に立った順」になっているためか、レビューの上位にはこの本に対する否定的な意見、辛辣な批評がずらっと並んでいました。内容はそれぞれ異なるものの、読み進むうちに、これ

らの反発が、根本的な世界観の違いにあることが分かりました。

### 置かれた場所

そもそもこの「置かれた場所」という表現の中に、この本の前提が語られています。つまり、あなたを今の場所に置いた存在がいる、その存在とは、あなたを創造された神、ということなのですが、この神の存在を受け入れ、神を見上げて生きるなら、他人との比較に翻弄されることなく、置かれた場所で忍耐する力が与えられ、喜んで生きて行けるようになる、と著者は語っているのです。

先ほどのヒマワリの話に戻りますが、あの場所に種を蒔いたのは私です。条件が厳しいことは百も承知でした。庭には日照、土壌、水利等の条件が良い所とそうでない所とありますが、それらの所に種を蒔き、苗を植える者は、植物の観点からすれば「絶対者」です。種も苗も一切、文句を言うことができません。しかし、種蒔きする者は、割り当てた場所の条件に応じて、それぞれの種や苗への要求を変えるのです。あの小さなヒマワリに対する私の評価は「なんで大輪を咲かせながったのか!」ではなく、「よくやった、よくぞ花までつけたな!」なのです。

### 人と比べることから自由になりたい!

私たちの多くは、人と比べることは何の得にもならないことを頭では分かっているのですが、なかなか比較の世界から自由になることができません。不平や不満の多くは人と比べることから生じます。人に取り残されると思うと焦燥感に駆られて不安に陥ります。人の成功を見て自分の不幸を感じるのです。インターネット上の悩み相談を見ても「人と比較する生き方から自由になりたい」という悲痛な叫びが沢山聞こえて来ますが、その訴えに対する答えとなると、比べるな、割り切れ、努力しろ、何か一つに自信を持って、自己肯定が大切だ、適当に生きるのが肝要、自分の問題を認識しているあなたは偉い、時間が解決するよ!と答えは残酷であったり、一時しのぎや堂々巡りであったりで、本質的な解決は何一つ見つかりません。

(裏面に続く)

## 「また会う日まで」 ソフィー・ニコソンさん

(2013年3月グリニッチ教会での証し/元教会員、サンフランシスコ在住)

ここに立つて証しするのはこれで5回目です。日本語は私にとってはやっぱり苦手、書くにしても話すにしてもしどろもどろで、慣れたようで慣れないのです。私はこの教会に12年間おり、この教会では一番長くいた者になるのですが、ここを去るのはとても心苦しいことです。さあこれからが私の証しです。

私と神さまの出会いは12年前。ロスアンゼルスに居た弟の紹介で、ロスの教会に行きました。その時の牧師は川原先生と言い、この先生から立石先生の前任の近藤先生に紹介されて、近藤先生の元で導かれて、受洗をいたしました。それは確かに神さまのご計画だったと私は思います。

洗礼を受けた当時、私はクリスチャンとしての認識は非常に浅く、自我は人一倍強かったです。自分は偉いと思っていて、おごり高ぶっていて、謙遜という言葉を知らず、謙遜の二文字からほど遠かったのです。それから教会にたびたび来るようになりました。もうまじめに、熱心に。立石先生夫妻の熱心な聖研にも10年間通い続けたのですから、聖書を学ぶための手引きもほとんど終わりました。

数々の教会の行事に関わって行くうちに、初めはなかったのですが、私の霊的成長がだんだん芽生えて来たのだと思います。神さまは私の心の中に住んでくださり、良い品格を養うように、働きかけてくださいました。私は自分が変わったことに気がつ

きました。自分の自尊心が段々と消え失せ、他人の良い点を見つけ、我がことのように一緒に喜んで、一緒に笑って楽しむようになりました。あれから本当に勉強したんですよ。もう、他人を裁いたり、陰口をたたいたり一切しません。私の尖った批判的な性格は丸く収まって来て、我慢強く、耐えるようになり、怒りたくなるときも、怒るよりも、物事の原因、真相を確かめてから判断しよう、という考え方をするようになりました。そうしたら、段々怒りが消えて平安が戻って来たのです。これは神さまが私にくださった賜物です。

「人生を導く五つの目的」の本を学ぶ40日間の人生の旅でも、私は神さまに使われるために生まれたのだ、だから自分の才能は神さまのために使うのだ、ということを知りました。しかし、神さまのために他人に伝道し、奉仕しなければならないことを何回も繰り返して読むうちに、私はつくづく罪悪感を感じたのです。私はこの12年間、何をもちたしていたのか、なぜ、まわりの方に福音を宣べ伝えなかったのか、と。

残された短い人生、地上に残された時間をいかに有益に使うべきか、今、考えさせられています。結局私たちのこの地上で



の生活は一時的なものであることが分かったのです。神さま、どうか私を赦してください。神さま、ごめんなさい。どうか、私をお赦してください。今からでも遅くない。私がこれから新しい土地に転地していくことも神さまのご計画の一つです。これからカリフォルニアで私の新しい人生が始まります。私の近辺の方々にイエス様のことを教えよう。

今の私の心境は、イエス様、私はあなたを愛しています。あなたを深く信じています。私の毎日は、愛と感謝で満ちています。最後に私の大好きな暗唱聖句を言って閉じたいと思います。「心を尽くして主に拠り頼め。自分の悟りにたよるな。あなたの行く所どこにおいても、主を認めよ。そうすれば、主はあなたの道をまっすぐにされる。」 箴言 3 : 5~6 ■

### (1面からのつづき) では虚勢を張って生きていくのか?

平和一戦時下、裕福一貧困、安定した地域や家庭一スラムや問題だらけの家庭、五体満足一身体障害・・・世の中は確かに不公平極まりない場所であり「比べるなど言う方が無理ではないか」また「置かれた所で咲け、とは不公平な現状を肯定するつもりなのか」と言う思いは当然出て来ることでしょう。多くの日本人にとって、現実問題に神を持ち込むことは「弱者のすること」、天国を考えることも「禁じ手・逃げ」だと考え、「神だけは勘弁してくれ」と言います。しかし不条理の中で勇敢にガンバリズムだけで生きて行こうとする先に何があるのだ、というのでしょうか。最終的に被害者意識に縛られて人を裁く思いに支配されて生きるか、あるいは人生、弱肉強食、世の中は勝ち組負け組なのだとして虚勢を張って他を押しつけて生き、高慢きわまりない人になってしまうか、にならないでしょうか。

「置かれた場所で咲きなさい」が五つ星中 4.2 であり、多くの人がこの本に人生の根本的な問題の解決の糸口を見いだしているのは、ここで真理が語られているからではないでしょうか。人という横軸だけで生きている限り、比較の世界から逃れることはできません。繰り返しになりますが、神という縦軸が人生にしっかり据わるときこそ、人との比較という次元から抜け出し、まさに、新しい次元で生きることができるのです。

### もう一つ大切なこと…特別扱い

あなたが神を見上げ、今、置かれた場所で精一杯、咲くことを決心するとき、あなたは人と比べる世界から自由になるだけでなく、もう一つ、あなたにとり、大切なことが起こるのです。

あなたは神の菜園、神の花壇に戻って来た人となるのです。

菜園や花壇は実は特別な所であることにお気づきでしょうか。雨が降らず、日照りが続いているときでも菜園や花壇の植物は特別に水が供給されるのです。必要な肥料を施してもらうことができ、より多くの実を結ぶために剪定を受け、日よけ、霜よけ、虫除け、病気の治療まで受けることができます。あのヒマワリも、実は、特別扱いを受けていたからこそ、土地が痩せ、水がない場所でも、花を咲かすことができたのです。

これと同じように、自分の人生において神の主権を認めて生きる人は、神の花壇、神の菜園に植えられ、特別扱いを受けるのです。神が責任をもって世話をしてくださるので、人は自分に割り当てられた務めを精一杯果たせばよいのです。その場所で自分が幸せになることで、今度は周りの人にその幸せと恵みを流す人になれるのです。



### 神の招き

比較の世界で疲れ果てていた人々に対し、イエス・キリストは、「すべて疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。」(マタイ福音書 11:28) と語られました。これはそのまま私たちに対する招きでもあるのです。この招きを聞き、神に立ち返りたい方はいらっしゃるでしょうか。ぜひ教会につながり、聖書を学んでいかれますよう、お勧めします。… 神は全ての人が、ご自分の花壇に戻ってくることを願っておられます！… 最後にあのヒマワリですが、今はせっせと種を膨らませています！ ■

## ■ 2013 年 秋から冬の集会・行事予定 ■

※ 下記以外にも週の間、入門クラス、聖書の学び会が定期的に行われています。お問い合わせください。

### 【定例集会】

- ★ 日曜礼拝 / 10:00~11:30  
メッセージは託児室でモニターを通して聞く事ができます。
- 礼拝後 グループ会 / 12:15 まで  
大人、子供それぞれのクラスに分かれます
- ★ ウェルカム礼拝 / 毎月最終日曜
- ★ 祈禱会 / 水曜日 10:00~12:00

### 【各種集会】

- ★ ハリソン 聖書を読む会  
隔週火曜 10:00am 場所: ハリソン長老教会
- ★ スタンフォード 聖書を読む会  
隔週水曜午後 1:15 場所: 井上宅
- ★ ハートフォード 聖書を読む会  
隔週月曜午前 10:00  
毎週木曜午前 場所はお問合せください

### ★ グリニッチ 聖書を読む会

現在調整中です

### ★ グリニッチ グリニッチ家庭集会

現在調整中です

### ★ マウントキスコ 聖書を読む会

毎週水曜 8:00pm 場所: 平野宅

### ★ メンズ・バイブル・フェローシップ

木曜日 8:00pm 場所: 教会図書室

### ● ウェルカム礼拝 9/29(日) 10:00~11:30 特別賛美: 鳥居夕紀夫さん

ウェルカム礼拝は初めて礼拝に来られる方、キリスト教に関心ある方にとって入りやすい内容で構成しています。29日は長くグリニッチの教会に集ってこられた鳥居さんの特別賛美があります。お聞き逃しなく! 年内のウェルカム礼拝の予定は10/27, 11/24, 12/29です。内容については追ってウェブでお知らせします。

### ● 水谷恵信先生をお迎えしての特別礼拝 10/6(日) 10:00~11:30

水谷恵信先生ご夫妻が9/30よりNYに滞在されており、10/6まで各地で集会を行っています。詳しくはウェブで。

### ● 「お父さんの会」水谷恵信先生 10/6(日) 14:30~17:00 (父親対象)

困難な時代にあって父親としてどのように生き、与えられた責任を果たしていくかについて語っていただきます。

### ● 秋の生活・教養講座 10/19(土)~11/16(土)、計5回、毎週土曜日 9:30~11:30

テーマ: ハローウィン、サンクスギビングの起源、キリスト教と他宗教との相違点、その他。詳しくはウェブで。

### ● 岸 義紘先生 サックスコンサート! 11/10(日) 11:15~12:30

心揺るがすサックスによる賛美をお届けします。当日の礼拝は通常通り10時から、その後、大礼拝堂に移動します。

### ● クリスマスの夕べ「音楽のおくりもの」 12/15(日) 17:00~19:00

前半さまざまな音楽でクリスマスを綴り、後半はハワイの中村裕二夫妻によるクリスマスコンサートになります。

《教会住所》グリニッチ福音キリスト教会 (Japanese Gospel Church of Greenwich)、牧師 立石尚志

c/o St. Paul Ev. Lutheran Church, 286 Delavan Ave. Greenwich, CT 06830 website: [www.jgclmi.com](http://www.jgclmi.com)

《問い合わせ》教会 TEL/FAX(203)531-6450、牧師宅 TEL/FAX (203)531-1609, e-mail: [church@jgclmi.com](mailto:church@jgclmi.com)

